

2009 年度事業報告書

公益事業の内容は、新美術館にて初めて、展示会・講演会・呈茶とグッズ販売を行うとともに、例年通り美術品写真原版の貸出等を行いました。毎年 1 月 25 日に行っております逸翁追善茶会は、表千家木村宗匠のご担当で懸けていただき、約 450 名のお客様をお迎えしました。展示会につきましては、秋季展と早春展の 2 回の企画展を開催し、総開館日数 93 日、総来館者は 16,531 人で、一日平均約 100 名でした平成 19 年度に比べますと約 70%ほど増加し、一日平均約 177 名でした。従いまして、入館料も 700 円から 1,000 円への値上げ効果も含めまして、平成 19 年度年間とほぼ同額の約 11,300,000 円でした。また、グッズの売り上げも、新規のアイテムの増加効果もあり約 6,000,000 円で、平成 19 年度年間(約 7,000,000 円)に比して約 70%増でした。

収益事業は、ホール貸出事業が稼働日数は約 60日、集客総数 4,640 名、売上 4,345,250 円でした。また、不動産賃貸事業は、喫茶室の賃料収入が 756,000 円でした。

(1) 公益事業

① 美術工芸品の一般公開ならびに講演会等の開催

- ・ 9 月 19 日(土)池田市民無料内覧会
- ・ 9 月 26 日(土)阪急沿線無料内覧会
- ・ 10 月 3 日(土)プレオープン(招待客)
- ・ 展示会

テーマ・期間	月	開館日数		入館者数		観覧料	
			計		計		計
秋季展 開館記念特別展「茶人 小林一三」 自 10 月 4 日(日)～至 11 月 29 日(日)	9	[2]	49	[2,655]	10,692 (218)	0	6,968,000
	10	24		4,301		2,715,300	
	11	25		6,391		4,252,700	
早春展 「吳春 白梅図」 自 1 月 16 日(土)～至 3 月 7 日(日)	1	14	44	1,524	5,839 (132)	1,087,265	4,320,530
	2	24		3,185		2,226,400	
	3	6		1,130		1,006,865	
合計			93		16,531 (177)		11,288,530

注:( )内は一日の平均入館者数

実施日及び入場者	題名	講演者
開館記念 10 月 3 日(土)約 190 名	「新逸翁美術館開館」	元文部科学大臣 有馬 朗人氏
秋季展 10 月 17 日(土)約 175 名	「近代数寄者としての小林一三」	林原美術館館長 熊倉 功夫氏
秋季展 11 月 21 日(土)約 160 名	「好み道具よりみた逸翁の茶風」	武庫川女子大学名誉教授 森川 恵昭氏
早春展 2 月 20 日(土)約 185 名	「吳春筆白梅図屏風—円山四條派の絵画—をめぐって」	(財)冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉 為人氏

② 呈茶

- ・ 開催日 土・日・祝 10 時～15 時 37 日間
- ・ 利用者 1,318 人

- ③ 逸翁忌茶会
  - ・ 開催日及び場所 1月25日(月) 人我亭
  - ・ 参加者 412人
- ④ 友の会(入会金 5,000円)
  - ・ 入会者 184人
- ⑤ 美術工芸品の受贈及び購入:
  - ・ 基本財産 受贈1,288点
  - ・ その他の固定資産 受贈210点  
購入3点
- ⑥ 美術工芸品の整理保管及び調査研究ならびに研究会・講習会等の開催
  - [整理保管]
  - [調査研究]
    - ・ 新収蔵システムの活用:既存データの更新、新規データのインプット等
    - ・ 収蔵品の高彩度撮影:約100点 300カット
- ⑦ 美術工芸品に関する解説、複製その他の刊行物の発行等
  - ・ 美術品写真原版等貸出
  - ・ 開館記念特別展図鑑発刊
  - ・ 代表的な所蔵美術品のDVD制作:ハイビジョン動画撮影、檀れいの解説
- ⑧ 有形文化財建造物の維持保全及び一般公開ならびに小林一三の偉業等に関する資料の一般公開
  - ・ 小林一三記念館事業企画・設計
  - ・ 小林一三記念館改修工事(1~3月)
- (2) 収益事業
  - ① 貸室事業
    - ・ ホール:年間稼働日 62日
  - ② 不動産賃貸借事業
    - ・ 建物賃貸:喫茶室(借手 建石産業)
  - ③ 物品販売事業
    - ・ オリジナルグッズ制作販売:新規グッズ、既グッズ
    - ・ ブックファースト、便利堂及びシーグ社等の受託販売
    - ・ 委託販売